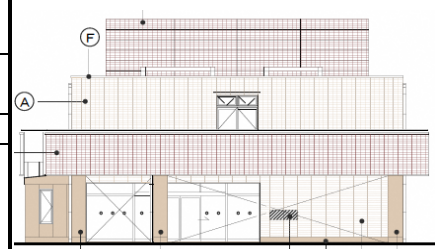


| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)大和市中鶴間貸設新築工事 | 階数 | 地上2F |
| 建設地 | 大和市中鶴間字乙八号3008番2、3008番47 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 1種住居、1種低層住専 | 平均居住人員 | 100人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 病院 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2016年1月 予定 | 評価の実施日 | 2015年8月11日 |
| 敷地面積 | 2,078㎡ | 作成者 | 大和ハウス工業(株) |
| 建築面積 | 1,088㎡ | 確認日 | — |
| 延床面積 | 2,111㎡ | 確認者 | — |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|---------------------------------|--|
| 総合 | その他 | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| 自然採光・自然換気が十分に行える窓を配置し、室内環境の向上に配慮している。また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、空気質環境にも十分配慮している。 | 耐用年数の長い設備配管の採用により、建物の長寿化を図っている。 | 緑地を設けることにより、良好な景観を形成している。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。また、LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化にも配慮している。 | 自動水栓や節水型便器の採用により、水資源の保護に配慮している。 | ライフサイクルCO ₂ 排出率を91%とするなど、地球温暖化への配慮をしている。また、適切な量の駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷捌き車両の駐車施設を確保するなど、交通負担の抑制に配慮している。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される